

科目名		整形靴 I			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	45回	時間数	90時間 (2単位)	配当学年・時期	整形靴科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
<p>足部に軽度の変形(外反母趾、扁平足など)を持つ方をモデルとして学校にお呼びし、その方に適合する整形靴を製作する。木型は木型製作 I で製作したものをを用いる。モデルさんを患者・お客さんに想定し、接客・コミュニケーションの方法などを経験させる。採寸・採型、木型・フットベッド製作(木型製作 I)、仮合わせ、靴製作、適合の一連の流れを習得する。また自分が担当したモデルさんについてのレポートを作成し、知識を深める。</p>								
〔授業全体の内容の概要〕								
<p>仮合せからアッパー製作、つりこみ、底付けまでの流れを、講義およびデモに続いて作業を進める。レポートを作成させ(木型製作 I を含む)、行った作業をまとめ理解を深める。製作物について自己評価し、全体の前でプレゼンテーションする。</p>								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
<p>自身でスケジュール管理をし製作することができる。疾患に応じた木型から靴を製作することができる。製作工程を理解する。モデルさんとの円滑なコミュニケーションをとることができる。疾患に応じた製作のポイントを理解することができる。製作物について自己評価し、全体の前でプレゼンテーションすることができる。</p>								
回数	講義内容							
1	チェックシューズ製作							
2	チェックシューズ製作							
3	チェックシューズ製作							
4	チェックシューズ製作							
5	仮合わせ準備							
6	仮合せDEMO							
7	仮合せ～木型再修正							
8	仮合せ～木型再修正							
9	仮合せ～木型再修正							
10	仮合せ～木型再修正							
11	ラストコピー～パターンデザイン							
12	ラストコピー～パターンデザイン							
13	アッパーメイキング、トゥボックス、カウンター、サイドライニング製作							
14	アッパーメイキング、トゥボックス、カウンター、サイドライニング製作							
15	アッパーメイキング、トゥボックス、カウンター、サイドライニング製作							
16	アッパーメイキング、トゥボックス、カウンター、サイドライニング製作							
17	アッパーメイキング、トゥボックス、カウンター、サイドライニング製作							
18	アッパーメイキング、トゥボックス、カウンター、サイドライニング製作							
19	アッパーメイキング、トゥボックス、カウンター、サイドライニング製作							
20	アッパーメイキング、トゥボックス、カウンター、サイドライニング製作							

## 2023 年度

## 授業概要

科目名		整形靴 I			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	45回	時間数	90時間 (2単位)	配当学年・時期	整形靴科2年		必修・選択	必修
回数	講義内容							
21	アッパーメイキング、トゥボックス、カウンター、サイドライニング製作							
22	アッパーメイキング、トゥボックス、カウンター、サイドライニング製作							
23	アッパーメイキング、トゥボックス、カウンター、サイドライニング製作							
24	つりこみ							
25	つりこみ							
26	つりこみ							
27	つりこみ							
28	ウェルト							
29	ウェルト							
30	シャンク、フィリング、ミッドソール							
31	シャンク、フィリング、ミッドソール							
32	アウトソール							
33	アウトソール							
34	アウトソール							
35	アウトソール							
36	アウトソール							
37	アウトソール							
38	仕上げ							
39	仕上げ							
40	適合DEMO							
41	適合～微調整～プレゼンテーション							
42	適合～微調整～プレゼンテーション							
43	適合～微調整～プレゼンテーション							
44	適合～微調整～プレゼンテーション							
45	適合～微調整～プレゼンテーション							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

レポート作成

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
なし		

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

実習中の製作物70点+プレゼンテーション10点+レポート20点の100点満点で評価する